

# News Release



本資料は 2013 年 7 月 9 日に BASF 本社(ドイツ)で発表されたプレスリリースの和訳です。

## BASF、1,4-ブタンジオールと PolyTHF<sup>®</sup>の製造能力を世界的に増強

2013 年 7 月 10 日

- 1,4-ブタンジオールの年間製造能力を 650,000 トンへ
- PolyTHF<sup>®</sup>の年間製造能力を 350,000 トンへ
- BASF、1,4-ブタンジオールおよび、その誘導体のグローバル・リーダーとしての地位を強化

お問い合わせ:  
BASF ジャパン株式会社  
コーポレート・コミュニケーションズ本部  
藤本朋子/麦谷英理子  
TEL: 03-3796-4879 / 4865  
FAX: 03-3796-4111  
tomoko.fujimoto@basf.com  
eriko.mugitani@basf.com

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)は、1,4-ブタンジオール(BDO)とその誘導体 PolyTHF<sup>®</sup>(化学物質名:ポリテトラメチレンエーテルグリコール、PTMEG)の製造能力を、今後 2 年間で世界的に増強します。BDO の年間製造能力は 535,000 トンから 650,000 トンへ、PolyTHF<sup>®</sup>の年間製造能力は 250,000 トンから 350,000 トンへと増強する予定です。なお、2012 年 8 月に PolyTHF<sup>®</sup>の年間製造能力を 185,000 トンから 250,000 トンへと増強したことを発表しています。

BASF は製造現場における効率性の向上、インフラストラクチャーの強化を実施することで、継続的に製造能力を増強しています。これまでに、ルイジアナ州ガイスマーでの BDO 製造能力の増強と、中国の漕涇(カオジン)での PolyTHF<sup>®</sup>製造能力の増強を目的に、数千万ユーロ単位の投資を行っています。

今回発表する製造能力の増強には、中国の庫爾勒(コルラ)における BDO と PolyTHF<sup>®</sup>の工場も含まれています。これらの工場は、BASF と新疆美克化学工業有限責任公司(Xinjiang Markor Chemical Industry、本社:中国・新疆ウイグル自治区コルラ)が設立した 2 社の合弁会社に

BASF ジャパン株式会社  
住所: 〒106-6121  
東京都港区六本木 6-10-1  
六本木ヒルズ森タワー21 階  
TEL: 03-3796-5111  
FAX: 03-3796-4111  
<http://www.japan.basf.com>

よって建設される予定です。これらの工場の年間製造能力は、BDO に関しては 100,000トン、PolyTHF<sup>®</sup> に関しては 50,000トンです。工場は 2015 年に稼働を開始する予定です。これらの合弁会社は、中国市場の顧客に対して高品質の製品を提供します。

BASF 中間体事業本部プレジデントのサンジブ・ガンジーは次のように述べています。「BDO と PolyTHF<sup>®</sup>の製造能力を世界的に増強することにより、私たちは着実に成長する市場とお客様の継続的な需要増加に対応します。BDO と PolyTHF<sup>®</sup>に対する需要は、特にアメリカ大陸で増加しています。製造能力を増強することで、ガイスマーの生産拠点から、こうした需要に安定的に応えていくことができます。アジア太平洋地域では、PolyTHF<sup>®</sup>の市場も、当社のお客様の事業も成長を続けています。BASF は、これからも信頼できる現地の製造業者、サプライヤーとしてお客様の成長をサポートし、お客様とともに歩いていくため、こうした施策を実施しています。」

BDO およびその誘導体は、プラスチック、溶剤、電子材料化学品、および弾性繊維の製造に広く使用されています。BDO 製造の出発原料は天然ガス、ブタン、ブタジエン、プロピレンなどです。

BASF は 70 年間、ドイツ ルートヴィッヒスハーフェンのフェアブント(統合生産拠点)で、レッペ・プロセスを用いて BDO を製造しています。アセチレンを原料とするこのプロセスは、発明者である BASF の化学者、ウォルター・レッペにちなんで名づけられた手法であり、他のどの方法よりも効率性が高いことが特徴です。BDO および BDO 誘導体は、ドイツ以外の地域では、現在、ルイジアナ州のガイスマー、日本の千葉、マレーシアのクアンタン、中国の漕涇、韓国の蔚山(ウルサン)で製造しています。

また、BASF は、30 年前に、ルートヴィッヒスハーフェンのフェアブントで初めて PolyTHF<sup>®</sup>を製造しました。現在は世界 4 カ所に PolyTHF<sup>®</sup>の生産拠点を展開しており、BASF は世界有数の PolyTHF<sup>®</sup>のグローバル・サプライヤーとなりました。

BASF ジャパン株式会社  
住所: 〒106-6121  
東京都港区六本木 6-10-1  
六本木ヒルズ森タワー21 階  
TEL: 03-3796-5111  
FAX: 03-3796-4111  
<http://www.japan.basf.com>

スパンデックス用 PolyTHF®に関する詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。(英語)

<http://www.intermediates.basf.com/chemicals/spandex/index>

<http://www.basf.com/group/corporate/de/news-and-media-relations/science-around-us/functional-wear/index>

レッペ化学に関する詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。(英語)

<http://www.intermediates.basf.com/chemicals/topstory/reppe-chemie>

#### ■BASF の中間体事業本部について

BASF の中間体事業は、中間体の開発から製造販売までを行っており、600 種類以上もの中間体からなる包括的なポートフォリオを世界展開しています。提供製品のなかで特に重要性が高いのは、アミン類、ジオール類、多価アルコール類、有機酸類、スペシヤリティ製品などです。中間体は、塗料やプラスチック、医薬品、繊維、洗剤、農薬の原料として使用されており、BASF の革新的な製品は、最終製品の特性の改善および、生産プロセスの効率性向上に役立てられています。BASF の中間体事業は ISO 9001:2000 認証を取得し、ヨーロッパ、アジア、南北アメリカに生産拠点を展開しています。2012 年の世界での売上高は 29 億ユーロです。詳細については、[www.intermediates.basf.com](http://www.intermediates.basf.com) (英語) をご覧ください。

#### ■BASF について

BASF (ビーエーエスエフ) は世界をリードする化学会社「The Chemical Company」です。製品ラインは、化学品、プラスチック、高性能製品、農業関連製品、石油・ガスと多岐にわたっています。BASF は、経済的な成功、社会的責任、そして環境保護を同時に実現しています。また、BASF は科学とイノベーションを通して現代社会や将来のニーズを提示しながら、ほぼすべての産業のお客様を支援しています。BASF の製品とソリューションは、資源の確保に貢献し、栄養価の高い食品を提供するとともに、生活の質の向上に寄与しています。BASF はこれらの活動を企業目標として「私たちは持続可能な将来のために、化学でいい関係をつくります」を掲げています。2012 年の売上は約 721 億ユーロで、従業員数は約 11 万人です。BASF の詳しい情報は、[www.basf.com](http://www.basf.com) (英語)、[newsroom.basf.com](http://newsroom.basf.com) (英語)、[www.japan.basf.com](http://www.japan.basf.com) (日本語) をご覧ください。

BASF ジャパン株式会社  
住所: 〒106-6121  
東京都港区六本木 6-10-1  
六本木ヒルズ森タワー21 階  
TEL: 03-3796-5111  
FAX: 03-3796-4111  
<http://www.japan.basf.com>